

嘉麻市の指定・登録文化財マップ

嘉麻市教育委員会

山田地区



県指定天然記念物

① 白馬山のバクチノキ



大樹2本の樹齢は400年を越えると考えられ、うち1本は樹高約15m、胸高周囲約2.6mある。バクチノキは、別名ハダカノキとも呼ばれ、樹皮がはがれ落ちる姿を「バクチに負けて衣をはがれる」に見立てて名づけられている。

市指定天然記念物

② 白馬山のムクロジ



樹高約26m、胸高周囲は4.2mある。日本では中部以南の本州、四国、九州・沖縄に分布しており、この白馬山のムクロジは幹周が4mを超えるものがいくつかある。九州地方の中でも比較的大きなものが多いのが特徴である。

市指定有形文化財

⑤ 門前寺六地藏塔



安国寺附寺六寺の一つである門前寺の近くにある。六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上)に苦しむ人々を釈迦如来の化身である六体地藏菩薩が救ってくれるという意味をもつ六地藏尊が彫刻された石造物。

市指定有形文化財

⑥ 古高取抹茶碗



高取焼の創始者である高取八山が上山田村に蟄居を命じられた際の目付奉行であった大庭源太夫の墓から発見されたもので、作風の特徴から、山田窯で焼かれた17世紀初頭の作品だと考えられている。山田図書館で常時展示中。

市指定有形文化財

③ 聖トマス石像



砂岩を粗く加工し、線刻によってつくられた高さ28cmの石像。戦国時代に山田から田川にかけ存在したキリシタンの信仰の一つとして考

市指定名勝

⑦ 松岡氏庭園



庄屋宅であった松岡家の庭園。雪舟により作庭されたと伝わる池泉鑑賞式庭園で、江戸時代の『筑前名所図会』に「衆景亭」として描かれ、その景観が当時のまま残ることに価値を見出せる。英彦山庭園文化の影響を今に伝える好例である。

県指定有形文化財

④ 木造白衣観音坐像



安国寺の本尊。ヒノキの一木造で、高さは50cmほど。室町時代頃の作とされるが、詳細は不明。端正な顔立ちと衣をまとった姿が

市指定天然記念物

⑧ 熊ヶ畑山のシラカシ



熊ヶ畑山尾根の自然林の中にあるシラカシ(ブナ科)は、胸高周囲3.9m、樹高22mに及ぶ県内最大級の

大樹。根元からはアカカシが寄りそい、縁起が良い木とされる。

嘉麻市指定文化財・登録文化財一覧

No	指定文化財名称	種別	所在地等	地図番号
1	古処山のツゲ原始林	国指定特別天然記念物	嘉麻市千手(古処山)	18
2	華文刺繍陣羽織	国指定重要文化財	嘉麻市大隈町	6
3	木造白衣観音坐像	福岡県指定有形文化財	嘉麻市下山田288番地	4
4	石造三重塔 阿弥陀如来石仏 十一面観音石仏	福岡県指定有形文化財	嘉麻市平905番地3	4
5	鎌田原弥生墳墓群出土品一括	福岡県指定有形文化財	嘉麻市大隈町449番地2	4
6	原田遺跡出土品一括	福岡県指定有形文化財	嘉麻市大隈町449番地2	5
7	山野の石像群	福岡県指定有形民俗文化財	嘉麻市山野 1620-1(若八幡神社)	2
8	山野の楽	福岡県指定無形民俗文化財	嘉麻市山野 1620-1(若八幡神社)	1
9	鎌田原弥生墳墓群	福岡県指定史跡	嘉麻市馬見123番地1	11
10	沖出古墳	福岡県指定史跡	嘉麻市漆生78番地1、2	5
11	大隈城跡(益富城跡)	福岡県指定史跡	嘉麻市中益15番地1、大隈町1番地18	9
12	白馬山のバクチノキ	福岡県指定天然記念物	嘉麻市下山田(白馬山)	1
13	千手川の藍穴群	福岡県指定天然記念物	嘉麻市上臼井3055番地	4
14	木造薬師如来坐像及び十二神将像	嘉麻市指定有形文化財	嘉麻市宮吉116番地	12
15	木造如来形立像	嘉麻市指定有形文化財	嘉麻市宮吉116番地	18
16	木造如意輪観音坐像	嘉麻市指定有形文化財	嘉麻市大隈町434番地	3
17	古高取抹茶碗	嘉麻市指定有形文化財	嘉麻市上山田1347番地10	6
18	門前寺六地藏塔	嘉麻市指定有形文化財	嘉麻市下山田361番地2	5
19	聖トマス石像	嘉麻市指定有形文化財	嘉麻市下山田978番地	3
20	五穀神遺跡出土 唐草文縁方格規矩四神鏡	嘉麻市指定有形文化財	嘉麻市上臼井767番地	2
21	桑野の梯橋	嘉麻市指定有形文化財	嘉麻市桑野871番地4地先	16
22	小野谷の竃鐘台 附建設記念碑	嘉麻市指定有形文化財	嘉麻市小野谷769番地4	15
23	下臼井西盆綱	嘉麻市指定無形民俗文化財	嘉麻市下臼井	1
24	平山獅子舞	嘉麻市指定無形民俗文化財	嘉麻市平山	3
25	秋月(豊前)街道 古八丁越	嘉麻市指定史跡	嘉麻市泉河内	17
26	松岡氏庭園	嘉麻市指定名勝	嘉麻市上山田	7
27	鮭神社の夫婦クス	嘉麻市指定天然記念物	嘉麻市大隈542番地	10
28	北斗宮の大クス	嘉麻市指定天然記念物	嘉麻市大隈町988番地1	7
29	不動丸の大クス	嘉麻市指定天然記念物	嘉麻市牛隈787番地	1
30	中村神社のナギ	嘉麻市指定天然記念物	嘉麻市上西郷747番地	2
31	白馬山のムクロジ	嘉麻市指定天然記念物	嘉麻市下山田白馬山(6合目)	2
32	三郎丸の大クス	嘉麻市指定天然記念物	嘉麻市口春322番地	3
33	千手小学校のケヤキ	嘉麻市指定天然記念物	嘉麻市千手1253番地1	14
34	熊ヶ畑山のシラカシ	嘉麻市指定天然記念物	嘉麻市熊ヶ畑広畑	8
35	国登録 寒北斗酒造主屋 ほか	国登録有形文化財	嘉麻市大隈町1036番地1	8

(2024.3.31)

稲築地区



県指定無形民俗文化財

① 山野の楽



家内安全、五穀豊穡などを祈願する水神祭り、「かっぱ祭り」とも呼ばれ、秋分の日若八幡神社に奉納される。ゆったりとした調子の舞が特徴。寛元2(1244)年に宇佐八幡宮から伝えられたといわれ、豊前地方との交流を示す貴重な伝統芸能。

県指定有形民俗文化財

② 山野の石像群



文永8(1271)年に妙道という僧侶が石像を祀ったことが始まりとされる。若八幡神社の向かいの須賀神社裏にあり、通称「五百羅漢」と呼ばれる。表情豊かな350体ほどの石像は、①とともに山野地区が宇佐神領だった名残を留めている。

県指定有形文化財

④ 石造三重塔 附 阿弥陀如来石仏、十一面観音石仏



平地区の熊野神社近くにある正平8(1353)年の年号が刻まれた砂岩製の石塔と石仏。「正平塔・正平仏」と呼ばれている。「正平」は南北朝時代における南朝方の年号で、当地域が南朝方に属していたことがわかる。

県指定県史跡

⑤ 沖出古墳



4世紀末頃に造られた全長68mの前方後円墳。2度の発掘調査の結果をもとに復元整備された。埋葬施設は、竪穴式石室に舟形石棺。九州の古墳では唯一となる3種類の腕輪形石製品、その他、船が線刻された埴輪等が出土している。

市指定天然記念物

③ 三郎丸の大クス



口春地区の公民館の近くにある樹高約15m、胸高周囲約4.3mある大きなクスの木である。いたずら河童が、牛を川に引きずり込もうとして、逆に村中まで引きずられて、このクスにくくりつけて懲らしめられたという話が伝えられている。

山上憶良 歌碑

神亀3(726)年に筑前の国守として赴任。『万葉集』の代表的な歌人でもある。憶良の代表作に神亀5(728)年7月21日、巡察のため嘉麻郡に立ち寄った際に撰定した「嘉麻三部作」がある。稲築地区には、ゆかりの地として、15基の歌碑が建てられている。

嘉麻市の文化財関連 公式ホームページのご案内

検索 歴史・文化遺産 嘉麻市ホームページ

以下の内容を掲載しております。

- 歴史・イベント・刊行物 刊行物、嘉麻市文化財公式 Youtube
- 嘉麻市の文化財 嘉麻市の文化財について
- 嘉麻市の文化施設 嘉麻市の文化施設、嘉麻市内史跡・資料館等の案内や説明の依頼について(学校関係者様・団体様用)
- 埋蔵文化財 埋蔵文化財包蔵地照会書類について

お問い合わせ先 : 嘉麻市教育委員会 生涯学習課 文化推進係
TEL 0948-62-5720 (直通) ※平日のみ E-メール bunka@city.kama.lg.jp

碓井地区



市指定無形民俗文化財

① 下白井西盆綱



幕末頃に始まった本綱引きは、山で採ってきたフジカヅラを芯に束ね、それにワラをねじ込んで直径30cm、長さ20mにもおよぶ大綱を作る。かつては、家内安全や無病息災などを祈り、盆の16日に行われていたが、現在は15日に行われるようになった。

市指定無形民俗文化財

③ 平山獅子舞



平山八幡宮の秋祭りに行われている獅子舞。飯塚市の「大分の獅子舞」の流れを汲み、18世紀はじめ頃に伝わったといわれている。雄獅子と雌獅子それぞれを二人一組で演じ、獅子舞の間には子ども達による太鼓の「回り打ち」も演じられる。

市指定有形文化財

② 五穀神遺跡出土 唐草文縁方格規矩四神鏡



飯田地区の五穀神社建替え作業中に石棺から出土したと伝えられている。石棺内には鏡以外の副葬品はなかったという。後漢時代に中国大陸で製作された面径約14cmの白銅製の鏡で、その背面には青龍・朱雀・白虎・玄武の四神図などが描かれている。

県指定天然記念物

④ 千手川の甌穴群



岩盤の割れ目などに小石が入り、流水の作用で長年かけて形成された自然の造形物。大小50を超える甌穴がつくられ、現在も発達している。江戸時代の地誌に村の名所として紹介され、「はなぐり石」や「末永石」と呼ばれていた。

嘉穂地区



市指定天然記念物

⑦ 北斗宮の大クス



江戸時代の地誌に「三千年の大楠」と記されていたが、寛政年間(1789～1801)に火災にあい、50年ほど前に枯れ果てた。現在のクスはその子にあたるもので、樹齢600年といわれ、樹高約45m、胸高周囲5.8m、枝張り14mある。

市指定有形文化財

⑬ 木造如来形立像



⑫に並ぶヒノキ材一木造で、高き80.5cmを測る。両手と両足先は、柄差込式になっているが、現在は失われている。ヒノキ材でもあることから十二神将像と同時期の所産と考えられるが、両手が失われているため尊名は不明である。平安後期の作。

国登録有形文化財

⑧ 寒北斗酒造主屋 ほか



江戸時代に創業し、改称を重ね現在に至る。店舗兼主屋、安政の蔵、仕込蔵が国登録有形文化財。主屋は幕末頃の建築、現役の醸造施設として稼働。秋月街道と日田街道が交差する交通の要衝に位置し、宿場町の繁栄を今に伝える。

市指定天然記念物

⑭ 千手小学校のケヤキ



明治36(1903)年の校舎新築の際に植樹された。樹齢は約100年と考えられる。植樹の際の大きさは、直径10cmほどであった。現在では、樹高約20m、胸高周囲4.6m、枝張り23mを測るが、近年の自然災害で主幹の一部が欠損した。

県指定史跡

⑨ 大隈城跡 (益富城跡)



秋月種実の居城であったが、豊臣秀吉の九州出兵により秋月氏は降伏(一夜城伝説)。その後、筑前六段城の一つとして、黒田家重臣の後藤基次が城主となり、近世城郭として改修。基次の出奔後は母里友信が城主となるが、一國一城令により廃城。

市指定有形文化財

⑮ 小野谷の警鐘台 附建設記念碑



花崗岩の石柱を用いた全国に例を見ない火の見櫓。高さは基壇を含め8mで、建設記念碑から、昭和5(1930)年に小野谷地区の消防員らの寄付によって建てられたことがわかる。当地域の消防の歴史を紐解く貴重な資料である。

市指定天然記念物

① 不動丸の大クス



牛隈地区の不動堂に茂る大クスで、地上10mから千枝四方に広がり、樹幹には空洞がある。樹齢は700年以上、樹高約35m、胸高周囲7m、枝張り20m。旅の僧がそこで行き倒れとなり、その時に持っていた不動像を祭ったという伝説が残っている。

県指定有形文化財

④ 鎌田原弥生墳墓群出土品一括



⑪から出土した細形銅戈・中細形銅戈・細形銅剣の先端部・翡翠製獣形勾玉・碧玉製管玉・磨製石剣等を一括指定している。細形銅戈は黒漆が塗られた柄を装着していたと考えられる。(現在、九州国立博物館へ貸出中)

市指定天然記念物

⑩ 鮭神社の夫婦クス



樹齢約700年で、境内の崖面に生え、地上25cmのところから二又に分れている。根元から二又に分れ相擁立している。根元から二又に分れ相擁立している。根元から二又に分れ相擁立している。根元から二又に分れ相擁立している。

市指定有形文化財

⑯ 桑野の梯橋



花崗岩の輪石を柱状に切り出し、縦列に配したリブアーチ型石橋。架橋時期は19世紀後半代、秋月藩が奨励した植蠶生産の樫炭運搬に活用されたと考えられる。⑮ともに石工の高い石材加工技術がうかがえる。

市指定天然記念物

② 中村天神社のナギ



上西郷地区の天神社境内にある3本の内の1本。樹高約25m、胸高周囲約1.8m、枝張り約10mを測る巨木で、近隣にまれなる名木。ナギの葉は対生し楕円形で数多くの平行脈があつて強靱である。また、雌雄異株で雌花は円形の果実を結ぶ。

県指定有形文化財

⑤ 原田遺跡出土品一括



昭和61年に発掘調査され、弥生中期～後期の墳墓群から有文小銅鐸・後漢鏡・鉄剣等が出土した。小銅鐸が埋葬施設から出土することは極めて異例で、被葬者は特定の有力集団であったと推測される。(現在、九州国立博物館へ貸出中)

県指定史跡

⑪ 鎌田原弥生墳墓群



平成3年に発掘調査された弥生中期の墳墓で、木槨墓を中心に甕棺墓・木槨墓・土壇墓の総数20基で構成される。中でも、木槨をさらに板材で囲う木槨墓は、大陸系の埋葬様式で、類例が少なく学術的に貴重である。

市指定史跡

⑬ 秋月(豊前)街道 古八丁越



現在の北九州市小倉と小郡市松崎を結ぶ江戸時代の街道。中でも古八丁越は最大の難所といわれ、峠越えの利用は中世まで遡る。峠道には風情ある石畳が各所に残り、特に残存状態の良い204mの区間を指定範囲としている。

市指定有形文化財

③ 木造如意輪観音坐像



大隈町地区の黒隅寺に伝わる。ヒノキの寄木造で彩色が施され、玉眼。南北朝～室町時代の作とされ、顔立ちや衣文の彫出から畿内仏師の技術がうかがえる。後世の修理によって、手や持物が本来の位置と異なっている。

国指定重要文化財

⑥ 華文刺縫陣羽織



豊臣秀吉の九州出兵の際に、秋月氏攻略の恩賞として当時の大隈町民が秀吉から賜ったと伝わる。イスラム圏で製作され寝具として使われた木綿のキルト生地を南蛮貿易で入手し、秀吉好みの陣羽織に仕立てたと考えられる。

市指定有形文化財

⑫ 木造薬師如来坐像及び十二神将像



宮吉地区の薬師堂にある薬師如来坐像は、クスの一木造で平安前期に遡る貴重な仏像である。宝暦13(1763)年に修理された。十二神将像は、ヒノキの一木造で、平安後期の作と考えられる。

国指定特別天然記念物

⑬ 古処山のツゲ原始林



嘉麻市と朝倉市にまたがる標高861mの山頂付近に広がっている。その広さは11.71haにおよぶ。ツゲの種類は、「アサマツゲ」、「オオヒメツゲ」が大部分だが、一部に「マルバツゲ」も見られ、古木は樹齢1000年を超えるものもある。